

平成 23 年 2 月吉日

柳井町地区の皆様へ

## 柳井町イベント・柳井町音頭・お礼のご挨拶

春の陽気が待ち遠しい今日この頃、皆様ますますご健勝のことと存じます。日ごろからいろいろとお世話になり、お礼申し上げます。

さて、学生からの最後のご報告は、「柳井町イベント」、「柳井町音頭」、そして「お礼のご挨拶」です。

### ■柳井町イベントのご報告

2010年12月4日に行われました、「ジャズイベントと柳井町音頭の披露会」は、皆様のご協力のお陰で、無事に実施することができました。当日は、愛媛大学ジャズ研究会の演奏、愛媛を拠点に作曲・演奏活動を行っている、石原公彦氏（今回の柳井町音頭の作曲者！）のトリオ演奏、そして柳井町音頭の披露を行い、会場のお集まりいただきました地域の方に喜んでいただきました。



愛媛大学ジャズ研究会



当日の様子

## ■ 柳井町音頭について

2010年12月12日に、柳井町音頭のレコーディングを行い無事に完成することができました。4歳～67歳までの幅広い年齢の方々が一緒に歌を作り上げ、さらに合いの手も加わることで、より親しみやすい柳井町音頭に仕上がっています。添付してあるCDの音源には、なんと！！「カラオケバージョン」が入っています。どんどん歌を練習して、皆さんの力で地域に引き継がれる音頭にしていってほしいと思います。



レコーディング当日



本番の様子



参加してくれた松大生



練習の様子

## ■ お礼のご挨拶

柳井町商店街での学生の地域活動は、一年数ヶ月と期間は短かったですが、皆さんの協力のお陰でとても充実した活動になりました。学生店長の居酒屋から始まり、様々な地域のイベント、最後は地域・学生が一体となった柳井町音頭製作で締めくくるとい活動には、一言では語れないたくさんの思い出が、また目には見えないけど大きな変化が、私たちに生まれたように感じています。

柳井町地区・商店街の一番の魅力は、学生が入っていきやすく、またそれを支える地域の人がいるということです。これは松山のどこよりも誇れる魅力です。

街角の小さなイベント自体に大きな効果は無いかもしれませんが、その中で地域と若者の交流からアイデアが生まれ、作曲家やレコーディング業者、大学の教授、商店街、地域の人をどんどん巻き込み、小さな夢や希望が少しずつ形になっていく、そのことを柳井町音頭が実証してくれました。

次は柳井町でどんな夢や希望が形になっていくのでしょうか？そんな小さな楽しみを胸に抱きながら、地域の人たちが主体となり、地域のために協力しあったときに（地域が学生を巻き込んで）、柳井町はもっと魅力的になると思います。

そして、来年の夏祭りに、地区のスピーカーから、柳井町音頭の歌声が響いていることを楽しみにしております。

最後になりましたが、柳井町商店街、柳井町地区を始め、これまでご協力下さいました皆様に、厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



松山大学 学生地域研究サークル五友の会 代表 宮田 潤  
代表補佐 吉兼 英祐